

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H30-8号)

平成30年8月7日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成30年8月1日に伊勢湾、8月2、3日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

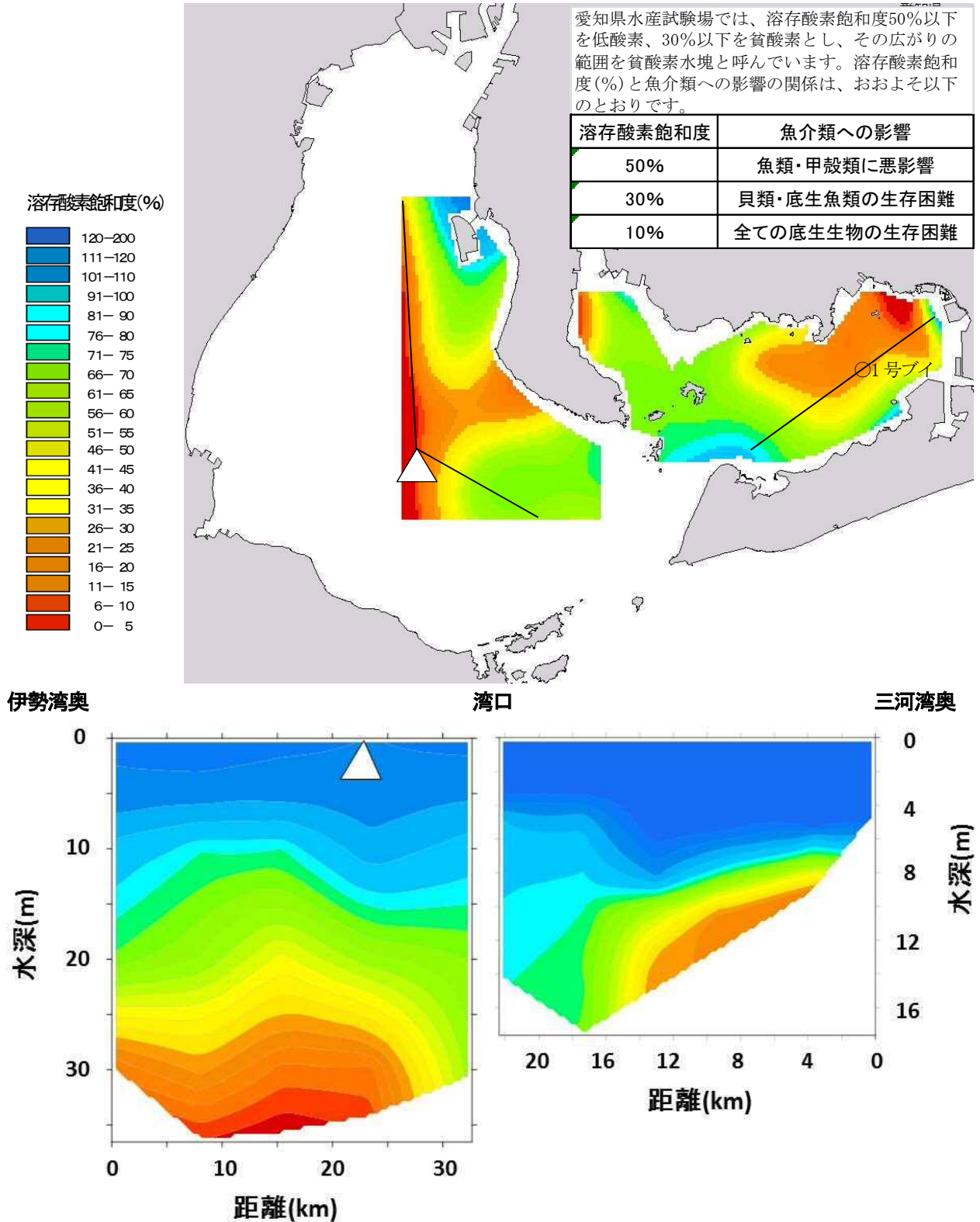


図1 伊勢湾(8月1日)・三河湾(8月2、3日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

伊勢湾

8月1日の調査結果を図1に示しました。湾中央部で貧酸素水塊が確認されました。

伊勢湾では、貧酸素水塊が深い水深に位置していることから台風第13号の影響を受けず、今後、発達していくものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	27.2~29.4	27.9~30.3
底層	19.2~27.6	29.6~33.2

三河湾

8月2、3日の調査結果を図1に示しました。前回調査（7月24日）に比べ、渥美湾、知多湾ともに貧酸素水塊が縮小していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）のデータをみると、7月28日から29日にかけて上陸した台風第12号の影響により海水の上下混合が起きて一時的に貧酸素は解消しましたが、その後、徐々に貧酸素化が進行しています（図2）。

今後は、台風第13号の強風の影響により苦潮が発生する可能性があります。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	27.8~30.3	27.1~30.1
底層	24.3~28.2	27.5~32.3

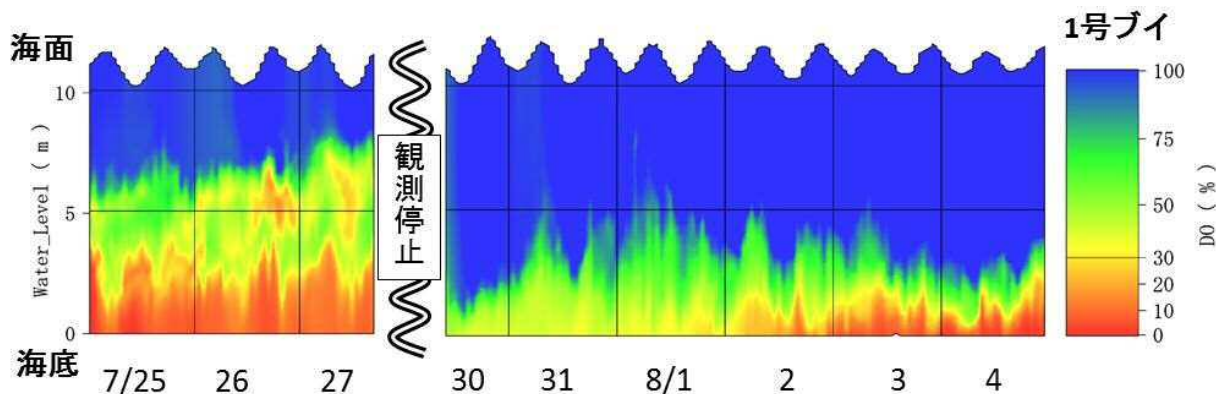


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

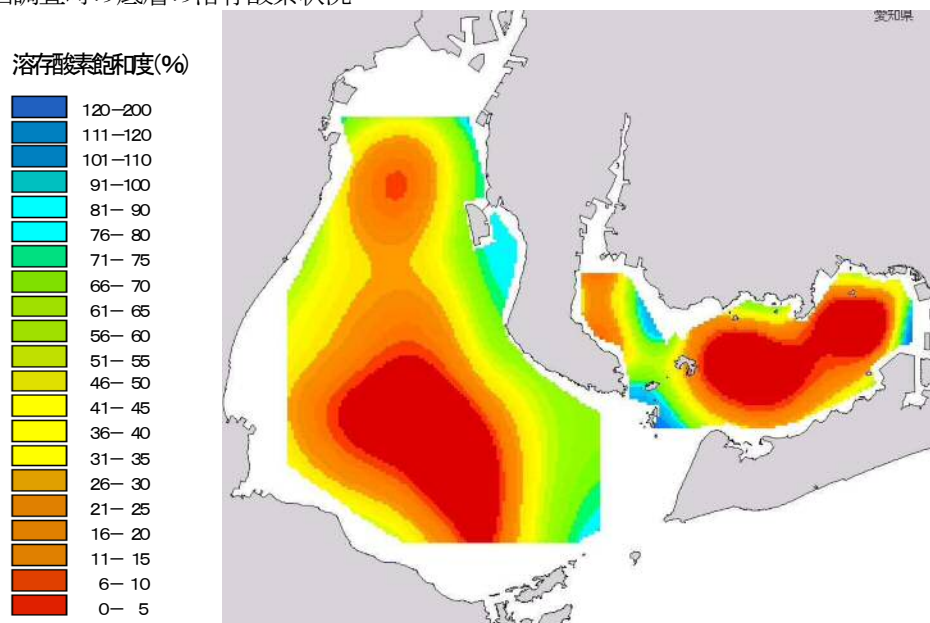


図3 平成30年7月24、25日（伊勢湾）、7月24日（三河湾）